

Player's Message

大会に挑んだ選手たち 【トラック競技】

ゴールまでフォームを崩さず走り抜いた

くろかわ そら
黒川 蒼空 選手（南吉井小6年生）

隣のレーンの走者には追いつこうと考えていました。リレーの時は2走で、「頑張れっ」という気持ちで仲間にバトンをつなぎました。近所に足の速い4年生がいるので、2年後、上位入賞を目指してほしいです。



「プレッシャーに負けない自分になる」と振り返った

いわた かずま
岩田 一真 選手（川上小6年生）

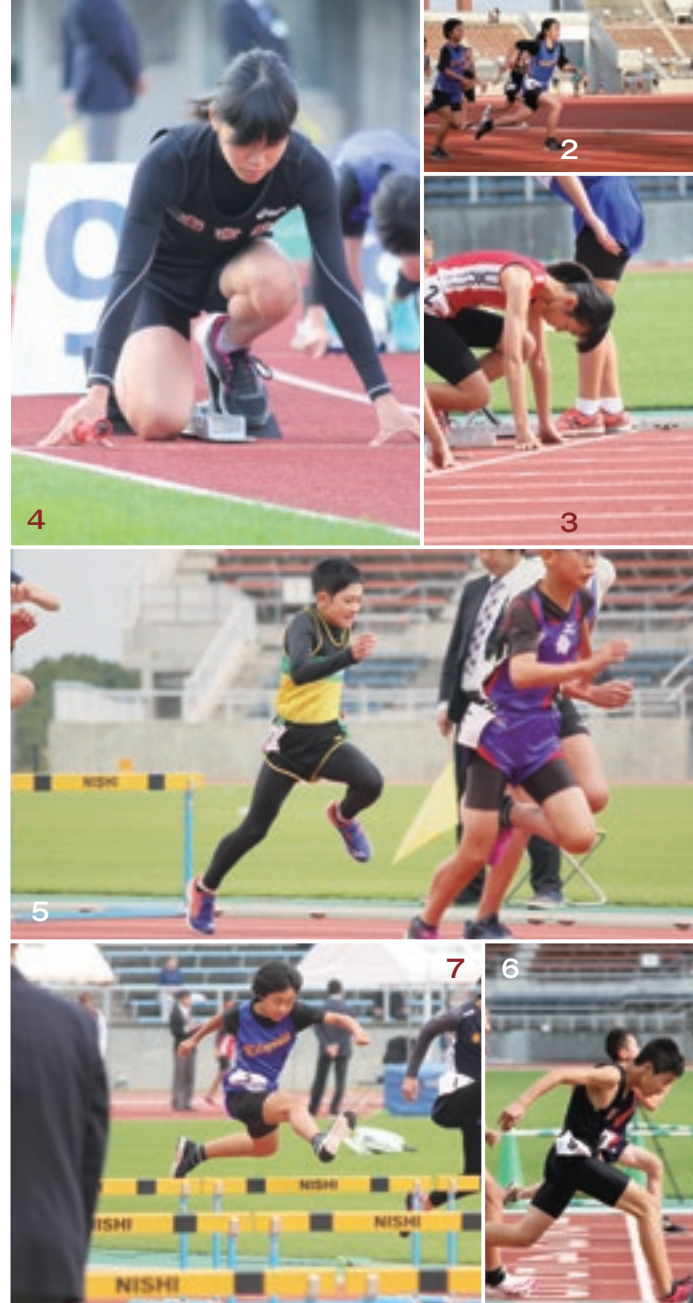


自己ベストのタイムが出せていたら入賞できていたので、少し悔いが残りました。でも県大会に出場できたことは良い経験です。次は、プレッシャーの中でも自分の走りができるようになりたいと思います。

高いレベルで刺激を受け、次のステップを誓った

いしまる そら
石丸 空 選手（西谷小6年生）

競技中は、最後のハードルを越えてからゴールまで走り切ることを考えていました。高いレベルで良い刺激を受けることができました。来年出場する人はベストが出せるよう、練習に取り組んでほしいです。



1_60mハードルに挑んだ松本琉唯選手（南吉井小）／2_400mリレーでは共に練習した仲間にバトンをつなぐ／3_本番前、スタートの確認を行う宮本陽向選手（川上小）／4_無心となって、ピストルの合図を待つ／5_前の走者に負けまいと力走する石丸空選手（西谷小）／6_ゴールの瞬間。全力を尽くした伊藤光太郎選手（南吉井小）／7_ハードルを跳ぶ蒲池姫奈選手（北吉井小）。自己ベストに挑んだ

トラック競技は60mハードル、60m走、100m走、400mリレーの4種目が行われました。（▽以下出場選手…60mハードル…（男子）石丸空（西谷小）／松本琉唯（南吉井小）（女子）蒲池姫奈（北吉井小）／宮本陽向（川上小）▽60m走…（男子）岩田一真（川上小）／森田晋平（南吉井小）（女子）宮城彩蘭（北吉井小）／福増愛彩（南吉井小）▽100m走…（男子）中田瑛徠（北吉井小）／伊藤光太郎（南吉井小）（女子）大元陽花（北吉井小）／黒川蒼空（南吉井小）

400mリレーには、北吉井小（男子…鵜久森健太、白戸優毅、高塚裕太、中田瑛徠、岡田壮翔▽女子…大元陽花、小坂摩耶、蒲池姫奈、宮城彩蘭、谷脇すみれ）、南吉井小（男子…伊藤光太郎、森田晋平、本園智哉、塩田碧泉、松本琉唯▽女子…乗松眞子、黒川蒼空、鈴木ひなた、福増愛彩、塩見菜月）から男女1組ずつが出場し、仲間から託されたバトンをつないでトラックを疾走しました。

特集より速く、より高く、より遠くへ

県内の小学生約900人が参加し、陸上競技のタイムなどを競う第32回愛媛県小学校陸上運動記録会（県教育委員会・県小学校体育連盟主催）が11月11日、県総合運動公園ニンギニアスタジアムで行われました。同大会は昭和63年に考案されたもので、子どもたちが7種の競技に分かれて競い合った会場は、声援と熱気に包まれました。

市大会記録 Game Records

60m 走（男子）	石丸空 10.15 秒／松本琉唯 10.20 秒
（女子）	蒲池姫奈 10.57 秒／宮本陽向 10.84 秒
60m 走（男子）	岩田一真 8.67 秒／森田晋平 8.80 秒
（女子）	宮城彩蘭 9.17 秒／福増愛彩 9.24 秒
100m 走（男子）	伊藤光太郎 14.41 秒／中田瑛徠 14.70 秒
（女子）	大元陽花 14.86 秒／黒川蒼空 15.04 秒

当日は朝から小雨が降る悪天候だったものの、開催前には晴れ間が見え、子どもたちはストレッチやランニングをして競技に備えていました。9時50分、「令和の時代の始まりにふさわしい大会になるよう、ワンチームの精神で競技に挑む」と児童代表が宣誓して開会し、東温市からは5校34人が全種目に出場しました。

県大会は、10月に行われた市大会での結果で上位入賞者が出場します。（各競技に選手枠あり）

自己ベストに挑んだトラック競技

Player's Message

大会に挑んだ選手たち 【フィールド競技】

自己ベスト127cmに迫る、125cmを跳躍

かちょう たいし 選手（拝志小6年生）

会場は、強そうな人が大勢いましたが、緊張せずリラックスして跳躍することができました。夏休みから練習をはじめ、「足を高く上げて、軽く跳ぶ」というのを意識しました。



県大会で自己ベストを更新し、46.59mを記録した

にゅうのや あずみ 選手（北吉井小6年生）



自己ベストが出るように、無心で投げたことが結果につながったと思います。中学でもソフト部に入るので、これからも肩を強くしていきたいです。来年も大勢の子が出られるように頑張っています。

県大会では、大きな選手と競うことができた

たけい たくと 選手（川上小5年生）

走り高跳びでは、背も高くてフォームも綺麗な選手が多かったです。少し悔いが残りましたが、この経験をいかして、どんな時でも力が出せるような自分になれるよう、準備をしていきたいと思っています。



1_ 黒澤奏翔選手（川上小）が走り幅跳びで自己ベストに挑んだ／2_ 悪天候の中、ソフトボール投げはコンディションの調整に気をつけた／3_ 踏切から高く飛び上がる小坂摩耶選手（北吉井小）／4_ 空中で腕を振る森本流空翼選手（南吉井小）／5_ より遠くへ跳べるよう身体を上げる八木愛梨選手（北吉井小）／6_ 走り高跳びのバーが上がるたび、会場から声援が送られた／7_ 子どもたちは大きな舞台上で躍動した／8_ 北吉井小、南吉井小の選手が集まって記念撮影

市大会記録 Game Records

走り幅跳び（男子）	森本流空翼 3.73m / 黒澤奏翔 3.68m
（女子）	小坂摩耶 3.71m / 八木愛梨 3.46m
ソフトボール投げ（男子）	丹治敬太郎 54.28m / 石川大珠 52.10m
（女子）	丹生谷梓実 42.47m / 春藤絢音 38.29m
走り高跳び（男子）	蚊帳太志 1.27m / 竹井巧人 1.27m
（女子）	原口華 1.18m / 杉下野々花 1.15m

空に舞ったフィールド競技

走り幅跳びには4人が出場し、森本流空翼選手（南吉井小）、黒澤奏翔選手（川上小）、八木愛梨選手（北吉井小）、小坂摩耶選手（同校）が上位入賞を目指しました。走り高跳びは蚊帳太志選手（拝志小）、竹井巧人選手（川上小）、原口華選手（北吉井小）、杉下野々花選手（南吉井小）がニンジニアスタジアムの空を大きく跳躍しました。ソフトボール投げには4人が出場し、丹治敬太郎選手（南吉井小）、石川大珠選手（北吉井小）、丹生谷梓実選手（同校）、春藤絢音選手（同校）が自己ベストの遠投に挑戦し、健闘しました。

スポーツを身近に

大会を運営した県小体連は、「皆さんの両親や兄弟も、この大会に出場したかもしれない。今日皆さんが出場し、将来、皆さんの子どもたちが出場できるような良い大会として続けていきたい」と締めくくりました。

2020年には、オリンピック・パラリンピックを控える日本。子どもたちがスポーツに親しむ機会は、ますます増えてくるでしょう。

小さな見守りが大きな力に

子どもたちの運動能力の向上をはじめ、健全な成長は、学校、家庭だけでは叶いません。では、地域に住む私たちは、子どものために何ができるのでしょうか？

子どもたちが幼少期から身近な公園で体を動かし、ボール遊びを楽しむことができるような環境を整える、子どもたちが遊んでいる場所を温かく見守る―。

私たち一人ひとりの小さな見守り活動が、やがて大きくなり、子どもたちが安心して成長できる地域が創られます。市全体で、地域の宝たちの成長を支えていきましょう。

（特集おわり）